

ストレッチャーC取扱説明書

品番：AD-01021C



<もくじ>

- P 1 ～ご使用前に～
- P 2 ～製品の仕様～
- P 3 ～組み立て方～
- P 4 ～安全ベルト取付方～
- P 5 ～使用方法①～
- P 6 ～使用方法②～
- P 7 ～使用方法③～
- P 8 ～お手入れ～
- P 9 ～担架として使用～

＊ご使用前に＊

出荷時には十分検査をしておりますが、ご使用前に恐れ入りますが、点検をお願いします。

部品の破損、ボルト・ナットの脱落はないか、ガタつきや不具合は無いでしょうか。

点検をお願い致します。

もし異常があれば、誠に申し訳ございませんが、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

【警告】

- 人を乗せて手押し移動のストレッチャー以外の目的に使用しないでください。
ストレッチャーの損傷や事故転倒によるケガをする原因となります。
また、身長180cm／体重90kg以上の人を乗せる場合は慎重に安全にご使用ください。
- 故障・異常のある時には使用しないでください。手押しの平坦床面使用。
- 改造はしないでください。
- ストレッチャーに人を乗せ降ろしの時は、必ずブレーキをして固定を確認してください。
- ストレッチャーに人を乗せる場合は、マットレス前後中央から等分に体重が分散するように乗せて下さい。
片側に体重がかかるような乗せ方で移動するとバランスを崩し転倒・転落の原因となります。

【注意】

- 階段・段差・溝・長い昇り降り坂での使用は危険です。
- ストレッチャーでエレベーターを移動する際は、ドアの隙間に車輪が落としこまないか確認してください。
- 点検・整備・清掃をして下さい。
ボルト・ナットの緩み・フレームのゆがみ・ガタつきなどの点検を緩みがあれば締めて下さい。
泥やほこりなどは、ぬれた布でふき取って下さい。あと乾いた布でふき、可動部分に潤滑油を塗って
いただければ長くご使用いただけます。

●保証書・・・保証期間は**1年間**です。大切に保管をお願い致します。（別紙）

●アフターサービス・・・万が一故障・不具合などがございましたら、お買い上げいただいた
販売店、または弊社まで恐れ入りますがご連絡下さい。

●ストレッチャーの手順と使用方法・・・別紙を参考にして下さい。

不明な点がございましたら、弊社まで御遠慮なくお尋ねください。

■製品の仕様

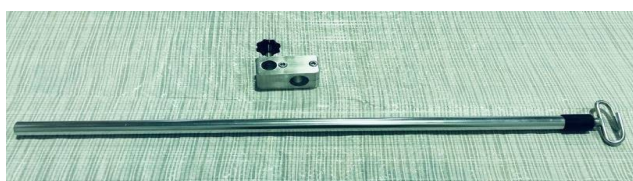
品名	搬送用昇降式ストレッチャーC
品番	AD-01021C
本体サイズ (幅×奥行×高さ)	1820×550×最少490～最大720(mm)キャスター含む
重量	担架14Kg (マットレス含む) トランスポーター26Kg
マットレス重量	3kg
サイドレールサイズ	高さ×幅: 210X600(mm)
キャスター～キャスター	幅×長さ: 480X910(mm)ホイール径からホイール径
キャスター	125φ

※品質向上の為、予告なしで仕様変更の場合があります。

■各部の材質



・本体フレーム	アルミニウム合金／鉄
・マットレス	オックスフォードレザー/ウレタン
・枕	オックスフォードレザー/ウレタン
・キャスター	ゴム／プラスチック／鉄
・点滴棒	アルミニウム合金／樹脂
・小物入れ	ナイロン
・酸素ボンベ架台	アルミニウム合金／ナイロン



点滴棒と点滴棒架台

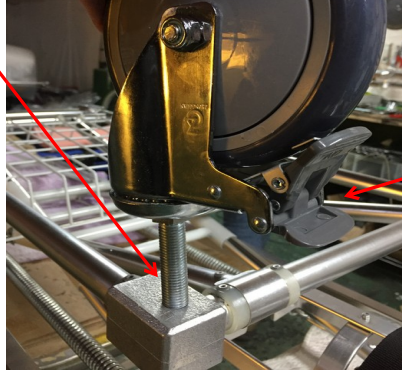
■付属品

・マットレス	・酸素ボンベ架台
・枕	・安全ベルト2本
・点滴棒	・点滴棒架台
・小物入れ	

★組み立て方

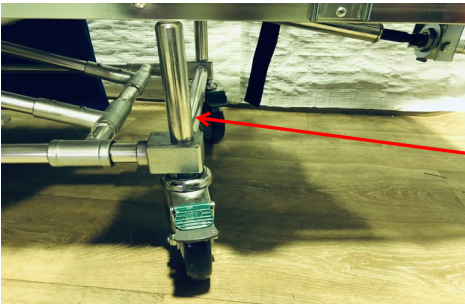
①キャスター取付方法

・本商品を逆さまにし、キャスターのボルトを奥までしっかりしめます。（４個全て）



※この時、キャスターが回転しないようにロックをしてください。

(旧ストレッチャー画像使用)

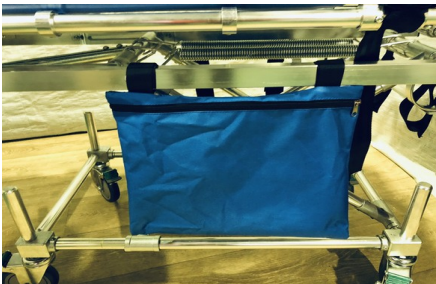
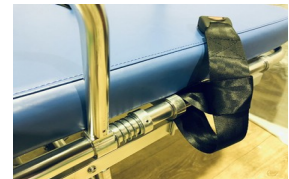


キャスターのボルトに揺れ防止でしめます。

②反転して担架を載せ、マットレス・枕を載せる



③安全ベルトの取付（２本）



反対側



④最後に小物入れを取付て完成です。

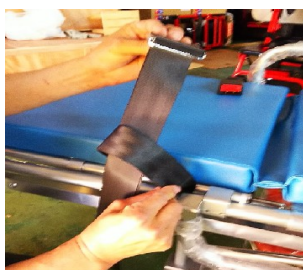
④マットレス頭側の紐を担架のパイプにくくりつけて下さい。（マットレスのズレ防止）

★安全ベルトの取付方

(画像旧タイプ使用)



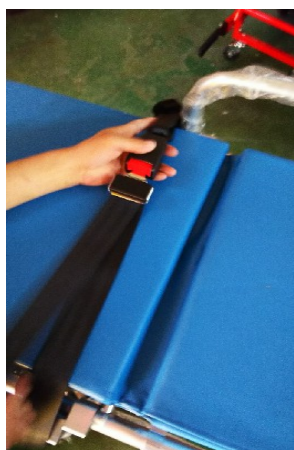
- ① ストレチャーのパイプの裏側にベルト通す。(1本目)



- ② 片方の輪にもう片方(金具等側)をくぐらせる。



- ③ 最後まで金具側を引っ張りパイプに固定する。



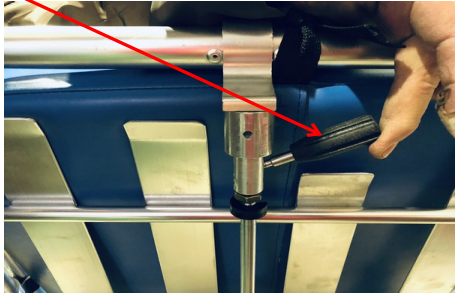
- ④ 2本目は反対側のパイプに①から③の手順で同じように取付ける。
- ⑤ セットするときは金具を赤い側の穴に差し込む。締め具合の調整は金具側のベルトで調整する。はずす時は赤いところを押すとはずれます。

☆使用方法（1）

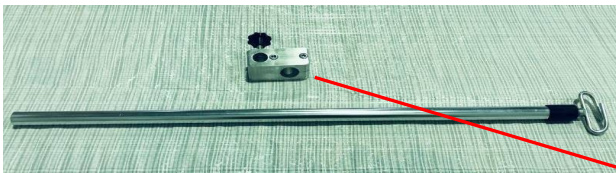
■背上げの使い方

背上げレバーを上げるか下げるかで、背上げが上下します。（無段階・・・好みの角度で）

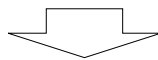
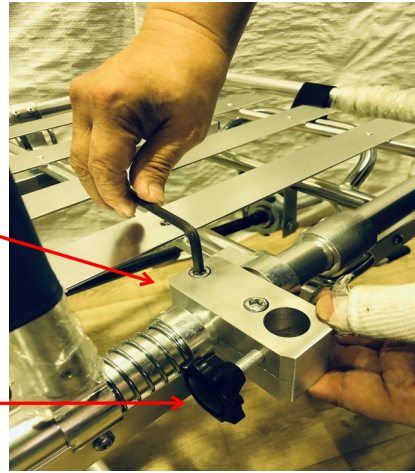
（レバーから手を離すと、その位置で止まります）



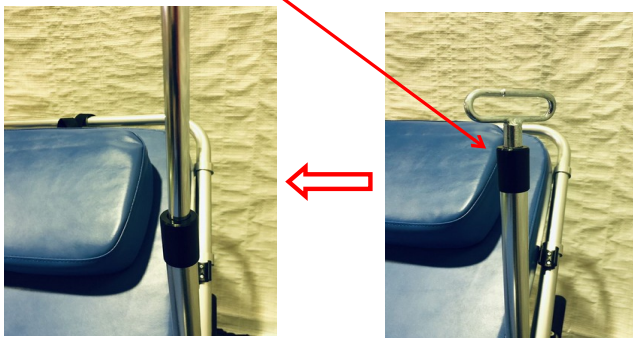
■点滴棒の取付方



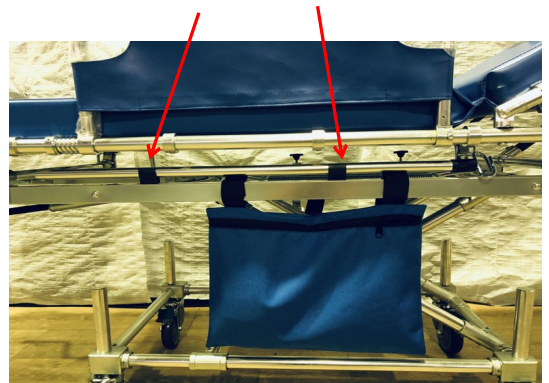
- ①点滴棒架台を取り付けたい場所に
備え付けの六角レンチ（6φ）で締める
- ②点滴棒をお好みの高さまで差し込み
ネジでしっかり締める



黒のねじを緩めれば、高さ調節が可能です。

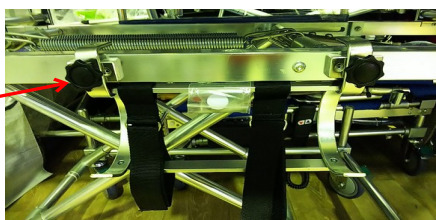


収納はサイドレール下側に受け具があります。



☆使用方法（2）

■ポンベ架台取付

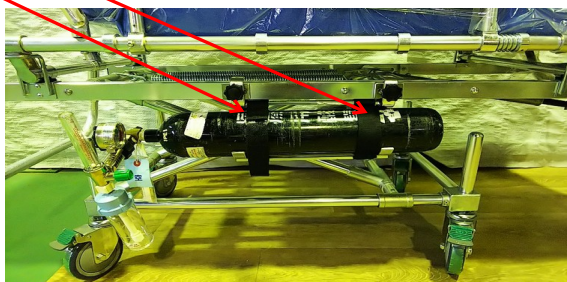
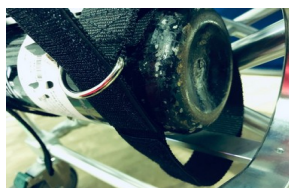


四角のアルミ板にネジで留める

■酸素ポンベ架台の使い方

右図のように、酸素ポンベをセットし
マジックテープで2ヶ所しっかり固定して下さい。

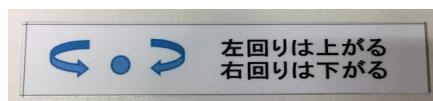
拡大



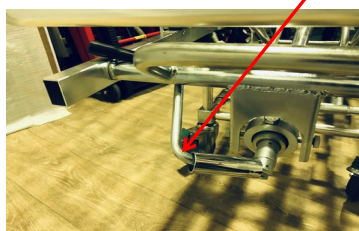
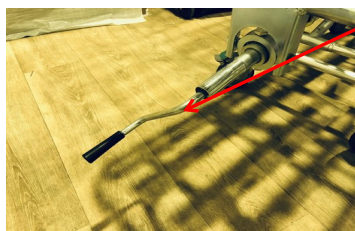
■昇降レバーの使い方

***注意：最後まで上がったら回さないでください。故障の原因になります。**

図のとおり、左回りは上がる／右回りは下がる。



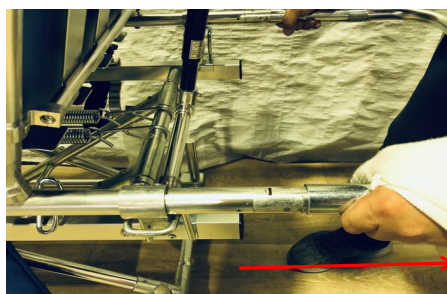
このパイプを手前に引くと
持ち手が折りたたむことも可能です。



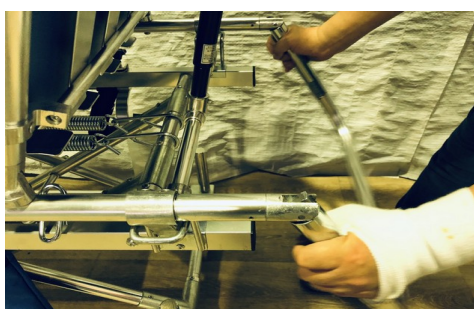
使用方法（3）

■担架を短くするときはパイプを手間に引き下げます。

*起こすときは指挟まないよう注意してください。



手前に引く



トランスポーターの頭側を引いて降ろすと長さが短くなります。

メリット

1. 背上げをあげることで50 cmほど隙間ができ、そこに荷物もおける。
2. 背上げすることで大型車は車椅子送迎も可能です。

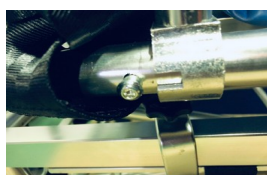
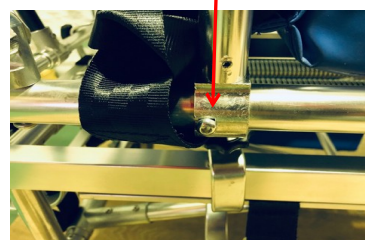
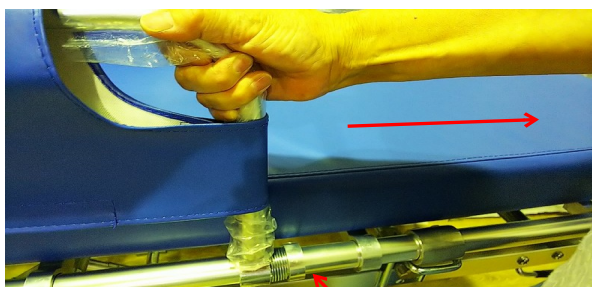
■サイドレール使い方

図のとおり、サイドレールを矢印の方向へ引くと倒したり、起こしたりできます。

*サイドレールをセットする際は、

この金具が溝に入っていること

必ず確認してください。

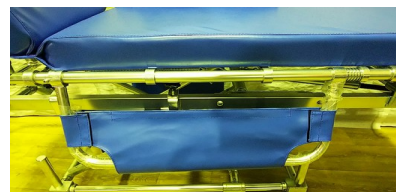


頭側

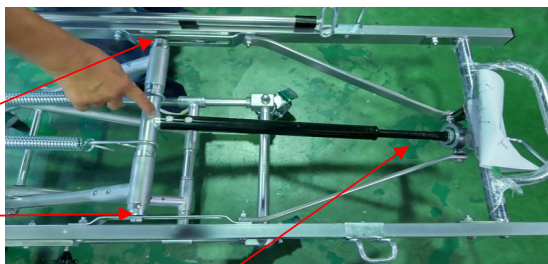


足側

(拡大)

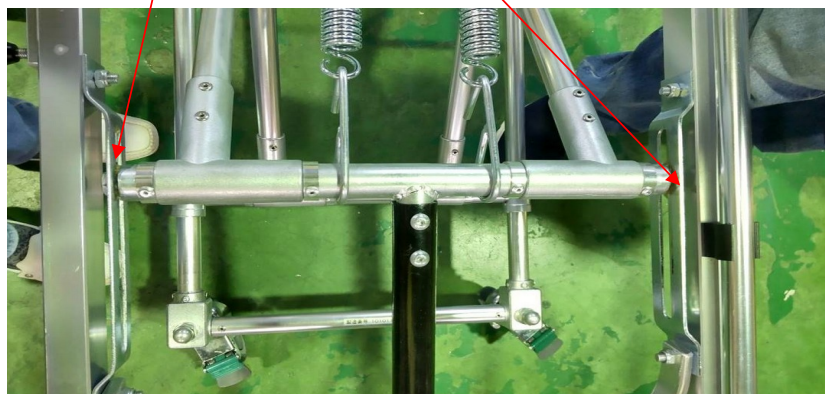


☆定期的にグリス又は潤滑油などでお手入れお願いいたします。



ここにグリスを少しなくなりかけたら
付けて頂くと摩耗は防げて長持ちします。

昇降バーのネジ部分にもグリスや潤滑油など
つけてください。

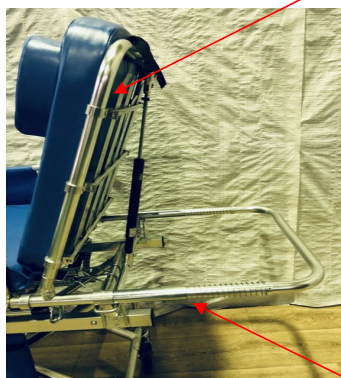


サイドレールバー側
緩衝する潤滑スプレーを定期的に

昇降する際緩衝するところ
グリス又は5-56のような
潤滑スプレーを定期的に

☆担架としてご使用の場合

ここ持って担架(持ち上げ) 使用は禁止です。



担架として使用は下段のパイプを持ってください。
ガススプリング（背上げ）の故障の原因になります。

☆ガススプリングについて



レバーはしっかり握って上げ下ろししてください。

ネジの緩みにご注意ください

ガススプリング（背上げ）の故障の原因になります。

<注意事項>

必ず守ってください。

- 1、昇降操作は左回りが上がる 右回りは下がるです
- 2、上げ過ぎにはご注意ください。
止まるようにはなっていますが無理に続けると
昇降レバーやX軸の故障の原因になります



株式会社ジャパンケアハート

〒454-0013 愛知県名古屋市中川区八熊2丁目1-1

TEL: 052-212-6400 FAX: 052-212-6401